



平成 31 年 3 月 23 日  
第 23 号(春号)  
南つくし野 小学校  
南つく蝶プロジェクト

蝶プロの今年度の活動も終わりました。学校での花だんのお世話の他に、めだか池や東工大、長津田周辺、田奈などでの野外活動、講師を招いての蝶の勉強会と野鳥の観察会、顕微鏡での観察などの室内活動をしました。ご参加、ご協力ありがとうございました。  
3学期の活動を紹介します。

### 1月26日 学校の近くを歩きながら、野鳥の話を知ろう

緑地環境プロデューサーの神保賢一路さんをお招きして、学校の周りの冬の生き物観察をしながら生き物の生態やフィールドサインについてのお話を聞きました。フィールドサインとは、フン、羽根、足跡など生き物たちの生活の痕です。ちょっと探偵気分フィールドサインを探し、ここにどんな鳥がいたかを想像しながら歩き、地域にツミなどの小型猛禽類がいることがわかりました。

ムクドリ、オナガ、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、コゲラ、ジョウビタキ、カワラヒワ、キジバトなどは、実際に見ることができました。

### 2月9日 顕微鏡をのぞいてみよう

顕微鏡を使って微生物の観察をしました。目に見えないくらい小さな生き物の話を聞いたあと、酵母やゾウリムシを顕微鏡で観察しました。その後、本当に身近に微生物がいるのか、自分たちでおんぶ池で水を採取し顕微鏡で観察しました。ゾウリムシや線虫が動いていました。

### 3月9日 蝶プロ花だんの観察と種まき

今年度の締めくくりとして、蝶プロ花だんの観察をしました。ミカンの木には、たくさんアゲハの幼虫がきて葉は食べられていました。そして、今年の3年生も新しくタネをまいてくれました。クスノキは、葉が残っていましたが、多くの植物は枯れていました。大きく育っていたウマノズクサもすっかり枯れていましたが、根元には春に向けての新芽が出ていました。

中庭のプランターに蝶を呼ぶための花の種をまきました。その後、チョウの幼虫の絵の立札をそれぞれの食草に立てました。



野鳥を探しに行く  
(1月26日)



顕微鏡を見る  
(2月9日)



ミカンにアゲハの札を立てる  
(3月9日)

## 鳥の巣箱を掛けました。

2月9日の神保さんの説明を受けて、シジュウカラ用の巣箱を3か所に掛けました。(校内は2ヶ所)  
シジュウカラは4月から7月ごろに子育てをします。  
子育ての様子が観察できるといいですね。



## 幼虫の札を立てました。

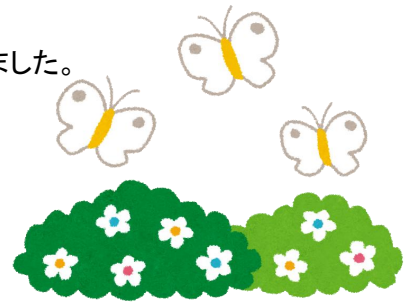
幼虫の絵が描かれた立札をそれぞれの食草に立てました。  
ミカンにアゲハ、クスノキにアオスジアゲハなどです。  
幼虫がいたら教えてくださいね。



## 子どもたちの感想など



- ・蝶が幼虫→成虫→卵→幼虫→成虫…と繰り返されることが実感できました。
- ・顕微鏡で蝶のりんぷんを見たいと思いました。
- ・江ノ島の潮だまりで生き物の観察をしたいです。
- ・小山田緑地で生き物の観察をしたいです。
- ・また地域探検をしたいです。



あまり遠くには行かれませんが、参考にしてまた来年度の活動を計画したいと思います。

活動の感想などをお待ちしています。ホームページ、蝶ポスト、またはスタッフまで。  
活動のお手伝いをしてくれる卒業生のお兄さん、お姉さんも大歓迎です。



『南つく蝶プロジェクト』で検索してね。 <http://butterflygarden.sunnyday.jp/>

寄せられたお手紙は通信やホームページに掲載させていただくことがあります。